

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2011-163351(P2011-163351A)

【公開日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2011-034

【出願番号】特願2011-119931(P2011-119931)

【国際特許分類】

F 04 D 29/30 (2006.01)

F 04 D 29/28 (2006.01)

F 04 D 29/68 (2006.01)

【F I】

F 04 D 29/30 C

F 04 D 29/28 R

F 04 D 29/68

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月21日(2012.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

空気が流入する前縁部と、空気が流出する後縁部とを有し、周方向に互いに間隔を隔てて設けられる複数の羽根部を備え、

前記羽根部には、前記前縁部と前記後縁部との間で延在し、遠心ファンの回転方向の側に配置される正圧面と、前記正圧面の裏側に配置される負圧面とからなる翼面が形成され、

前記羽根部は、遠心ファンの回転軸に直交する平面により切断された場合に、前記正圧面および前記負圧面に凹部が形成される翼断面形状を有し、

前記羽根部は、前記前縁部と前記後縁部との間で延びる前記翼断面形状の中心線が屈曲してなる屈曲部を有し、

前記凹部は、前記屈曲部により形成される遠心ファン。

【請求項2】

前記凹部は、

前記前縁部と前記後縁部とを結ぶ方向において、前記屈曲部の折れ方向が交互に反対方向となるように形成されてなる第1の凹部と、

前記屈曲部の折れ方向が連続して同じ方向となる箇所を含むように形成されてなる第2の凹部とを含む、請求項1に記載の遠心ファン。

【請求項3】

前記第2の凹部は、前記後縁部よりも前記前縁部に近い領域に配置される、請求項1または2に記載の遠心ファン。

【請求項4】

空気が流入する前縁部と、空気が流出する後縁部とを有し、周方向に互いに間隔を隔てて設けられる複数の羽根部を備え、

前記羽根部には、前記前縁部と前記後縁部との間で延在し、遠心ファンの回転方向の側に配置される正圧面と、前記正圧面の裏側に配置される負圧面とからなる翼面が形成され

前記羽根部は、遠心ファンの回転軸に直交する平面により切斷された場合に、前記正圧面および前記負圧面に凹部が形成される翼断面形状を有し、

前記羽根部は、前記前縁部と前記後縁部との間で延びる前記翼断面形状の中心線が屈曲してなる屈曲部を有し、

前記凹部は、前記屈曲部により形成され、

前記前縁部側に形成される前記凹部は、前記後縁部側に形成される前記凹部よりも多い数である、遠心ファン。

**【請求項 5】**

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の遠心ファンを、樹脂により成型するために用いられる、成型用金型。

**【請求項 6】**

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の遠心ファンと、前記遠心ファンに連結され、複数の前記羽根部を回転させる駆動モータとから構成される送風機を備える、流体送り装置。